

## ■放射線科

### 平成20年度 目標

#### 1. 検査技術・知識の向上及び接遇の向上

- ・ 有用な質の高い画像の作成と管理
- ・ 研修会・講習会への参加
- ・ 適切な言葉遣い、清潔な身だしなみ
- ・ 苦情や質問に対しての適切な回答
- ・ 医師及び医療従事者間の情報交換

#### 〈評 価〉

昨年同様に技術・知識の向上を図る為、院内・院外の研修、講習会へ参加し技術・知識の向上に努めました。また機器更新があったためスタッフ全員が機器の修得を行ないました。検査面ではバリウム高濃度製剤に変更したりと僅かですがスタッフの負担を軽減し検査の質を低下させないための創意工を今後も検討していきたいと思います。接遇面では特に問題はなかったと思いますが、次年度は放射科の検査衣について検討・改善していきたいと考えています。苦情や質問に対してはスタッフ間で情報を共有するようにしています。

#### 2. 医療事故、感染の防止

- ・ 患者様の取り違え防止
- ・ 患者情報の記載、情報入力間違いの防止
- ・ 照射録指示の誤認防止
- ・ 撮影室・機器の清掃と消毒
- ・ 感染に関する正しい知識の習得

#### 〈評 価〉

インシデントは患者様取り間違え・指示の誤認・情報の入力ミス・機器劣化によるもの等で5件ありました。多忙時の確認不足・思い込みにより発生しておりタイムアウトによる安全確認を意識づけるように努めました。取り違え防止としては患者様から名乗ってもらうように努めています。感染防止に関しては昨年同様に手洗いの励行、機器の清掃等を実施して2次感染防止に努めています。

#### 3. 適正在庫管理と業務改善

- ・ 機器管理
- ・ 画像データ管理
- ・ 月間使用量の把握

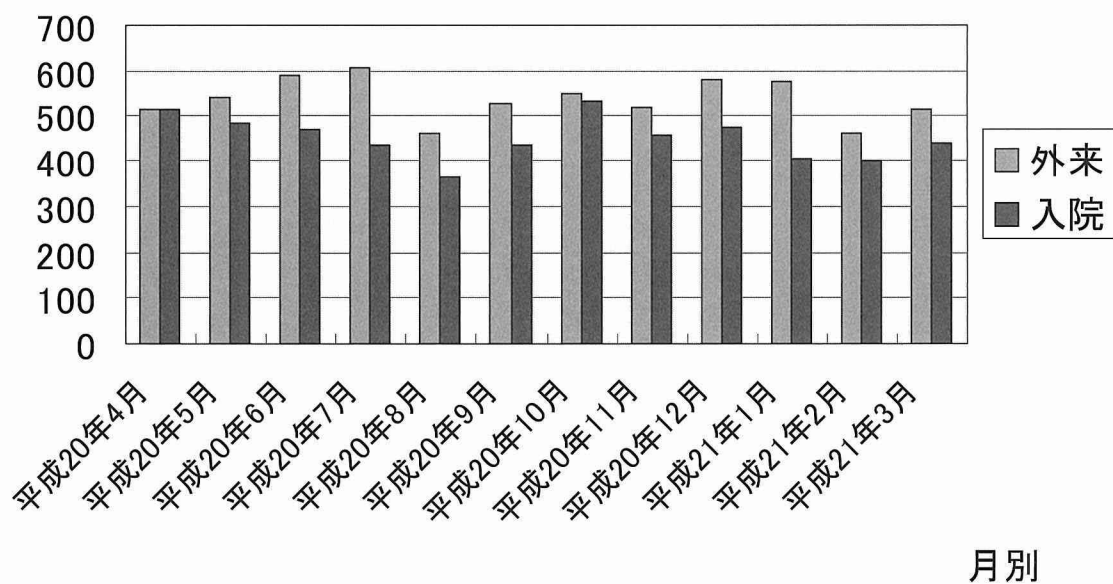
#### 〈評 価〉

使用枚数・在庫は日々確認しており、適正に管理されていると思います。装置更新による機器の周知、Filmless化にともなう情報の管理等が増えました。Filmless下において患者情報の間違いは最も犯してはならないミスであるという事を周知徹底し前述のタイムアウトによる確認等により誤送を防ぐように努めています。また、サーバー内の情報の変更・修正等には履歴を記すようにして情報を管理していますが情報の管理・運用についてはまだ改善の余地が多々あり次年度も引き続き検討・改善を行なっていこうと思います。

平成20年度検査実施件数（詳細は別表をご参照下さい。）

件数

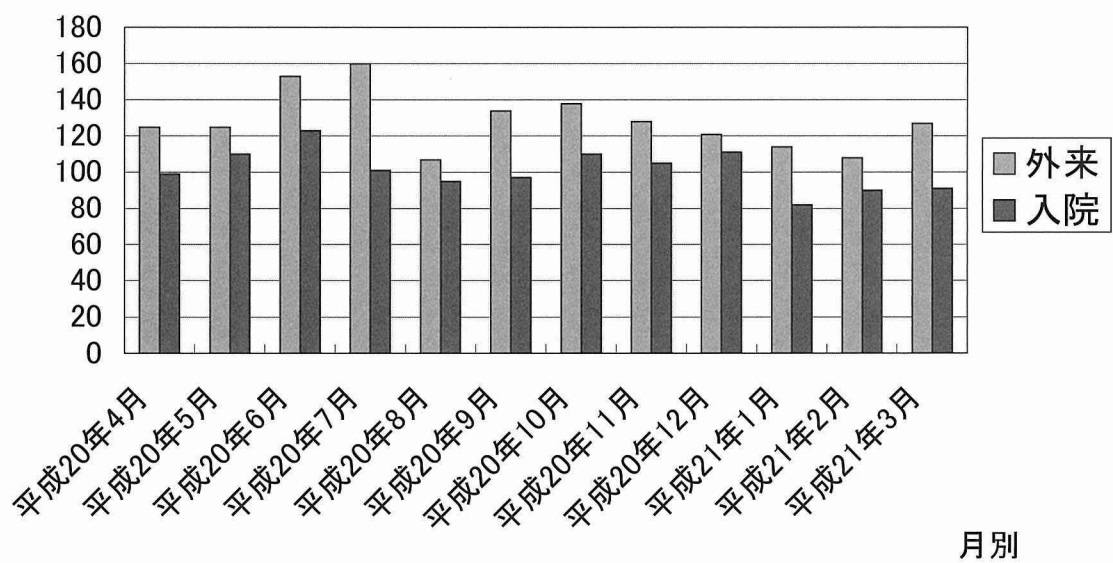
平成20年度CR検査件数



月別

件数

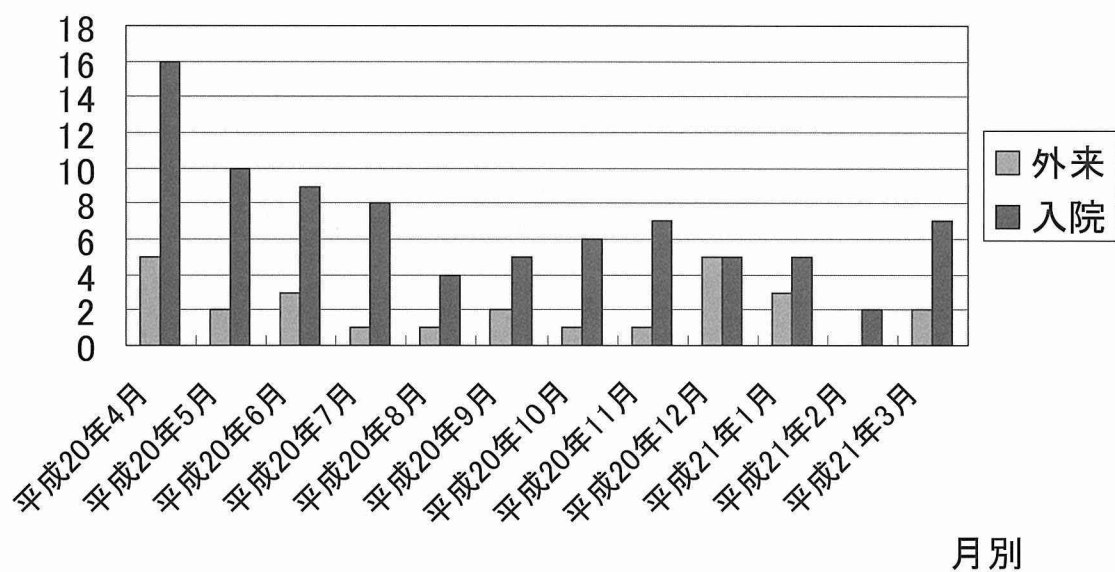
平成20年度CT検査件数



月別

件数

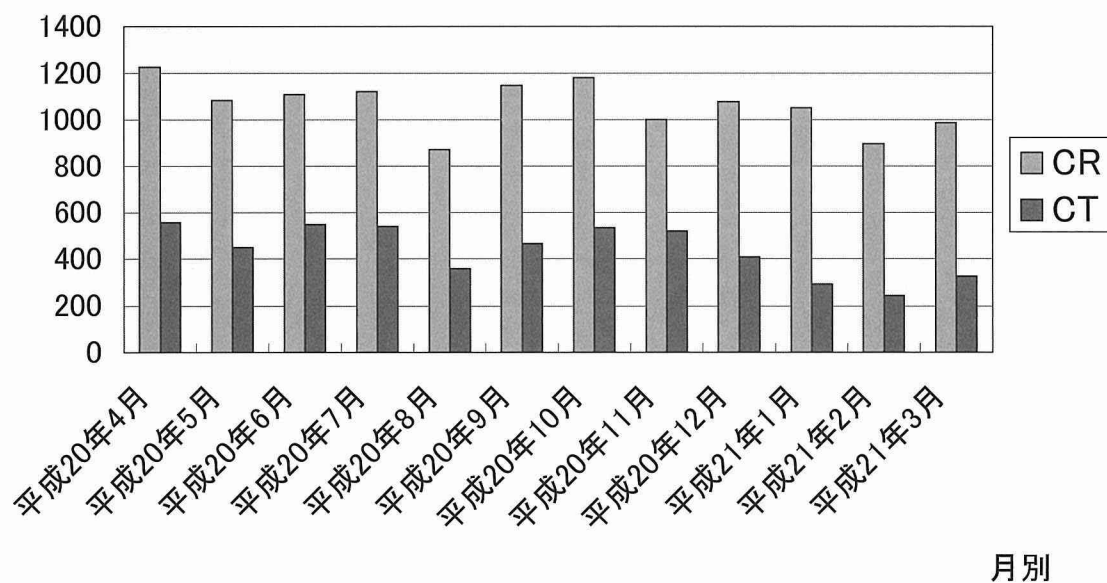
平成20年度血管造影室検査件数



月別

枚数

平成20年度使用フィルム枚数



月別

# 平成20年度 放射線科実績表

## CR検査

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期計		10月		11月		12月		21年1月		2月		3月		下期計		合計	
	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入
胸部	507	485	534	467	582	452	603	415	456	348	521	416	3,203	2,583	544	510	512	443	574	447	572	385	457	385	506	424	3,165	2,594	6,368	5,177
腹部	5	29	5	17	5	17	4	20	5	12	5	15	29	110	5	15	4	13	5	22	3	13	4	9	5	11	26	83	55	193
軀幹	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	0	7	3	0	3	1	1	0	0	0	2	1	3	2	3	4	12	11	15
四肢	0	1	3	0	1	1	0	1	2	6	3	4	9	13	0	4	2	3	0	5	0	5	0	3	0	3	2	23	11	36
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	513	516	543	484	589	470	609	437	464	367	530	435	3,248	2,709	549	532	519	460	579	474	575	405	462	400	513	441	3,197	2,712	6,445	5,421

## CT検査

頭部	2	7	4	11	3	7	9	5	4	11	4	13	26	54	2	9	2	6	3	11	4	9	5	9	2	13	18	57	44	111
副鼻腔	1	1	1	4	1	2	1	1	0	0	1	0	5	8	1	2	2	2	3	3	2	0	2	1	2	1	12	9	17	17
頸部	2	5	0	1	1	5	1	1	1	0	1	1	6	13	0	1	0	2	0	3	1	1	0	0	1	1	2	8	8	21
胸部	102	60	105	69	120	68	127	58	85	46	107	58	646	359	113	67	115	69	104	61	89	44	82	51	84	49	587	341	1,233	700
腹部	12	16	8	15	18	27	18	20	14	22	17	17	87	117	18	21	7	14	8	21	14	18	13	24	28	15	88	113	175	230
骨盤	5	9	5	7	10	14	4	16	2	14	4	8	30	68	4	9	2	11	3	12	4	8	5	5	10	10	28	55	58	123
椎骨	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	1	3
その他	1	1	2	3	0	0	0	0	0	2	0	0	3	6	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3	4	9
小計	125	99	125	110	153	123	160	101	107	95	134	97	804	625	138	110	128	105	121	111	114	82	108	90	127	91	736	589	1,540	1,214

## 透視室検査

胃	3	0	2	0	5	0	15	1	1	1	11	0	37	2	6	0	9	0	10	0	9	1	10	0	5	0	49	1	86	3
注腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TBLB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
胃チューブ挿入	0	3	0	4	0	3	0	3	0	3	0	3	0	19	0	4	0	3	0	4	0	4	0	3	0	6	0	24	0	43
IVH挿入	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ドレーン挿入	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	2	0	8	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0	13
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
小計	3	3	2	8	5	6	15	5	1	4	12	6	38	32	6	7	9	4	10	4	9	6	10	4	5	7	49	32	87	64

## 血管造影室検査

CAG	0	8	0	5	0	2	0	4	0	1	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	23
PTCA	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
シャント造影	2	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	0	7	2	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	3	4	10	6
動・静脈造影	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
PTA	2	2	1	1	1	3	1	1	0	1	1	0	6	8	1	1	1	4	4	1	2	1	0	1	1	0	9	8	15	16
ペースメーカー	0	3	0	2	0	2	0	1	0	1	0	2	0	11	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	2	0	5	0	16
WIL-メン挿入	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	5	0	3	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	9	0	14
IVH挿入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
小計	5	16	2	10	3	9	1	8	1	4	2	5	14	52	1	6	1	7	5	5	3	5	0	2	2	7	12	32	26	84
合計	1,280	1,284	1,358	1,336	1,043	1,221							7,522		1,349	1,233	1,309	1,199	1,076	1,193						7,359	14,881			

## フィルム使用枚数

コパ大角	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コパ四切	33	21	53	182	22	152	463	84	124	139	121	130	74	672	1,135	
DUP半切	25	17	24	22	0	22	110	4	12	0	19	6	16	57	167	
DUP大角	10	3	3	7	6	18	47	7	2	1	2	21	15	48	95	
C R	1,228	1,085	1,109	1,122	872	1,150	6,566	1,183	1,002	1,079	1,052	898	987	6,201	12,767	
C T	559	450	551	541	361	467	2,929	535	520	409	295	244	328	2,331	5,260	
合計	1,855	1,576	1,740	1,874	1,261	1,809	10,115	1,813	1,660	1,628	1,489	1,299	1,420	9,309	19,424	

## ポータブル撮影件数

171	174	152	159	133	177	966	184	150	161	150	132	162	939	1,905
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

## 参加した学会

平成20年 4月19日～20日 日本放射線技術学会 第64回春季大会（輪島）  
平成20年 7月10日～12日 第24回放射線技師総合学術大会 （瀧川）

## 参加した研修会・講習会

平成20年 5月16日 ・第6回札幌テクノロジーフォーラム  
「血管3Dについて」、「CTAにおける3D画像作成の工夫」  
平成20年 6月7日 ・CT・MRI学術講演会「320列CTによる画像診断革新」  
平成20年 6月20日 ・第6回北海道医療画像研究会「CTCの実際」「CTCによる新たな大腸診断」  
平成20年 9月11日／18日 ・札幌市放射線技師会学術研修会  
「頭部領域／心・血管系の3D画像処理作成技術について」  
平成20年10月31日 ・第7回札幌テクノロジーフォーラム「整形領域に役立つ3D」「関節のMRI」  
平成20年11月14日 ・第6回札幌Heart Imaging Club  
「救急で活かす心臓CT」「心臓を診て治すためのイメージング技術」  
平成20年11月21日 ・第7回北海道医療画像研究会  
「CT-AECの開発から原理まで」「3メーカーによる腹部CT-AECの比較」  
平成21年 1月17日 ・第28回北海道ヘリカルCT研究会  
「救急医療におけるMDCTの役割と今後の課題」他  
平成21年 1月24日 ・第7回北海道アンギオ画像研究会ウインターセミナー  
「大動脈瘤に対する血管内治療 ステントグラフトについて」他

## これからの展望

今年度は放射線機器更新と新体制による安定化を行ってきました。スタッフの減員によりひとりひとりにかかる負担が増し一部の事務業務の改善を実施しました。関係部署の負担も軽減でき今後も継続していきたいと思えます。また、検査面では昨年度末にFCRが更新され、今年度末に血管造影装置がいずれも経年劣化により更新しました。これでIT化に向けての準備は万全となりました。次年度はデータ集積をかねて運用を行い一歩進んだIT化の検討を目指していきたいと考えています。スタッフの入れ替えがありますが検査等に支障がでないようにスタッフ一丸となり業務を行っていくとともに人員的な不足を解消するために、より一層の業務（検査面・事務面）改善に努めなければ成らないと思っています。

文責 瀧川 幹雄